

環境保健

選 択

開講年次：2年次前期

科目区分：講 義

単 位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：健康を考える上で、環境は重要なウエイトを占める。とりわけ、現代社会では人間活動の影響を強く受けた環境によって、かつて経験したことのない新たな健康問題が引き起こされている。環境破壊と健康障害等の事例から、健康にとって環境の持つ意味及びそれらが人間の活動にどれだけ影響を及ぼしているかを理解する。

■**到達目標**：①人々の健康や生活と環境との密接なかわりを説明できる。
②どのような人間活動が環境を破壊し、健康問題を引き起こしているか説明できる。
③持続可能な循環型社会をつくるための環境保全活動について、世界～個人の日常生活に至る各レベルの取り組みのポイントを述べることができる。

■**担当教員**：

齋藤 健

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 環境のとらえ方
- 第 2 回 大気・大気汚染と健康への影響
- 第 3 回 水・水質汚濁と健康への影響
- 第 4 回 温度・気圧・放射線・騒音・振動 等の健康への影響
- 第 5 回 地球環境問題
- 第 6 回 札幌市における環境保健活動（特講）
- 第 7 回 生活環境の評価方法
- 第 8 回 環境保全活動のまとめ

■**教科書**：指定しない

■**参考文献**：「国民衛生の動向2013／2014」／厚生省の指標 増刊（厚生統計協会）2013年
「環境白書・循環型社会白書／生物多様性白書」／環境省（日経印刷）2013年

■**成績評価基準と方法**：授業・演習態度20%、発表40%、提出物40%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業・演習態度			○	積極的参加 学習環境配慮	20
発表			◎	プレゼンテーション、独創的な発案や他者へのサポートイヴな発言	40
提出物	○	○	○	プレゼンテーション資料の作成、ユニークな提案とその根拠	40
出席				2／3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：札幌を学ぶ、現代社会と国際関係、環境を考える など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：環境が人々の健康・生活に与える恩恵やリスク、人々が環境に及ぼす功罪、そして両者は一体の系として共存関係にあることを理解して下さい。環境を地球規模で考えると同時に、日々実行できる環境保全活動を見つけていきます。